令和2年度(2020年度) 事 業 実 績 報 告 書

1. 申請者の概要

ı		5	団体名	豊能町商工会						
		代表有	皆職・氏名	会長 大西久幸						
	申	所在地		〒563-0219						
	請			大阪府豊能郡豊能町余野1008番地						
	誀	+ m	職・氏名	事務局長 阪井健之						
	者	担当		電話番号(直通): 072-739-1647						
		者	連絡先	Fax: 072-739-2285						
		ī		E - m a i I : <u>toyono@gold.ocn.ne.jp</u>						
(①設:	立年月	日	昭和49年12月18日						
(②職」 (う		指導員数)	2名(経営指導員2名) (令和3年3月31日現在)						
(3所	管地域		豊能町						
(4管	内事業	听数	311(平成28年経済センサスによる)						
(⑤管内小規模事業者数			206(平成28年経済センサスによる)						
(6会	員数(約	組織率)	205(65.9%) (令和3年3月31日現在)						
				※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること						

□主な事業概要(定款記載事項等)

- ①商工業に関し、相談に応じ、又は、指導を行うこと
- ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。
- ③商工業に関する調査研究を行なうこと。
- ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。
- ⑤展示会、共進会等を開催し、又はこれの開催の斡旋を行なうこと。
- ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。
- ⑦商工業者の福利厚生に資する事業を行なうこと。
- ⑧商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。
- ⑨行政庁等の諮問に応じて答申すること。
- ⑩社会一般の福祉の増進に資する事業を行なうこと。
- ⑪商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行なうべき事務(その従業員のための事務を含む。)を処理すること。
- ②大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の事務を行うこと。
- ③行政庁から委託を受けた事務を行うこと。
- ④全各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

2. 事業概要 豊能町商工会

(1) 事業の目標

豊能町は、昭和40年代の住宅開発により人口が急増した地域であったが、昨今は住民の高齢化と若者の流出による人口減少により、消費の規模が縮小し、事業者の高齢化・後継者不足により厳しい状況にある。このような中にあって、商工会は日ごろから地域の商工業者の身近な相談相手として、問題解決の手助けとなるよう新型コロナウイルス感染症対策を行いながら巡回・窓口相談、専門相談事業を展開した。

本年度の新型コロナウイルス感染症対策に伴う国・大阪府の各種施策に対応するため特別相談窓口を設置し相談事業を充実させ、加えて、キャッシュレス決済の促進策として、キャッシュレス対策セミナーや、地域外利用者の消費促進策として里山魅力発信プラス事業等により地域事業者に役立つ施策を目的として事業を実施した。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

本年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言下で売上げの低迷や事業実施等が困難な 事業所の相談と経営支援の際に活性化事業を提案し、相談者の課題解決のための各種支援策等につい てアドバイスし事業継続の意欲向上を図った。

地域資源を活用した商品開発に取り組む事業者を支援すべく、「里山魅力発信プラス事業」を実施した。

「キャッシュレス対策セミナー事業」は、キャッシュレス決済導入の促進を図り持続優位性のある 事業展開を目的として実施した。

「創業事業計画セミナー」は、事業開始のために必要な事項を解説し、持続可能な事業展開へとつなげることができる事業計画作成支援を実施した。

(3)事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

月1回の会報発行により、商工会の実施する事業を始め、タイムリーな情報提供を行う事により、 事業者の抱える問題点を掘り起し、課題解決の手助けができた。

また、豊能町との連携で取り組んだ創業支援事業や各補助金に取り組む事業所が発掘でき、専門相談なども柔軟に活用し、深堀りした効果を上げることができた。

キャッシュレス対策セミナーを実施し、キャッシュレス化の推進を図ることにより、サービス、小売業等の販促面での支援ができた。

これらすべての事業は、新型コロナウイルス感染症対策のため、3密を避けソーシャルディスタンスを保ちながら実施した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

事業所の高齢化が進んでいる中、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げの減少等に対応するための意欲の維持・向上を目指していける環境づくりの重要性が増した。

(5)次年度の取り組み

本年度に引き続き、新型コロナウイルス禍の環境に対応した事業所が抱える課題毎に個別・専門相談を実施し、これらの問題点に迅速に対応して行く。また、事業の生産性向上を図る、人材が定着する環境づくり、地場産品活用によるPRや販売促進等により地域活性化につながる活動をすることで事業所の強みを顕在化し、各事業所の連携力を強化することを目的として事業を実施する。新型コロナウイルス感染症対応策として、セミナーの開催等については、状況に応じてYouTube等を活用しリモートで行うことも想定する。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

商工会の実施する支援メニュー等を事業者に伝えるため、月1回商工だよりを発行し、支援 メニュー普及を行い、包括的な支援を実行した。

新型コロナウイルス禍巡回等を通じて把握した事業者の抱える悩みを掘り起し、事業者の相談意欲を見出した。必要に応じて、専門相談の活用を提案し、事業者の期待に応えることができた。

小規模事業者が多いため相談に時間が取れない方が多い中、効率的な対応ができるよう生産性向上のための努力を行った。

代表的な相談事例としては、小規模な事業者ではあるが、技術がすぐれた設備工事業が、 コロナ型マル経でつなぎ資金の調達が出きたことで、改めて事業内容を精査し、これにより 親から子へ事業承継することができた。

支援メニュー	指標	目標数值	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	85	75	88.2%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	15	2	13.3%	4
金融支援(紹介型)	支援数	12	8	66.7%	5
金融支援(経営指導型)	支援数	30	41	136.7%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	3	3	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	20	36	180.0%	5
記帳支援	事業所	15	0	0.0%	I
労務支援	支援数	6		16.7%	4
人材育成計画作成支援	事業所	3	ı	33.3%	4
マーケティングカ向上支援	事業所	25	12	48.0%	4
販路開拓支援	支援数	33	11	33.3%	4
事業計画作成支援	支援数	25	50	200.0%	5
創業支援	事業所	7	0	0.0%	I
事業継続計画(BCP)作成支援	事業所	15	42	280.0%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	15	10	66.7%	4
財務分析支援	事業所	35	39	111.4%	5
5S支援	事業所	3	ı	33.3%	4
IT化支援	事業所	30	36	120.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	-	-
事業承継支援	事業所	5	I	20.0%	4
災害時対応支援	事業所	0	0	-	_
フォローアップ支援	事業所	20	0	0.0%	I
結果報告	事業所	85	75	88.2%	5

Ⅱ 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

昨年に引き続き、毎月1回の専門相談日を定期的に設け、商工だよりで事業者に告知することにより、専門家を身近に利用していただける環境を整えた。

事業者にとっては、専門相談は、課題意識がないと敷居の高いものに感じられるが、指導 員が同行、事前事後のフォロー対応を行うことにより、相談しやすい環境づくりに努めた。

特に、改正事項は各個別により最適な方法が常に変化するため、柔軟な体制を整えること で、臨機応変に事業主からの要望へ応えることができた。

事業名	新規/継続	指標	目標数值	実績数値	達成率	事業評価
税務支援	継続	相談件数	70	83	118.6%	5
経理支援	継続	相談件数	25	29	116.0%	5
経営支援	継続	相談件数	15	15	100.0%	5
その他支援	継続	相談件数	12	18	150.0%	5

4. 地域活性化事業 豊能町商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

里山魅力発信プラス事業では、豊能町の魅力を地域内外消費者に知ってもらい、地域資源を活用した商品開発やふるさと納税制度等も活用し消費につながることを目的として実施した。

キャッシュレス対策セミナーは低迷する地域の消費の回復を目指し、キャッシュレス決済導入の促進を図り持続優位性のある事業展開を目的として実施した。

創業事業計画セミナーは、創業希望者を対象に開業に必要な法律や各種制度等について解説し、持続可能な事業展開へとつなげることができる事業計画作成支援を実施した。

(1)	(Ⅰ)単独事業										
府施 策	事業名	総支援企業数		支援	利用者満足度		目標の指	標		事業評価	
連携	学 术心	計画	実績	実績率	(点)	項目	目標値	実績	達成率	4 火川	
	里山魅力発信プラス事業	38	29	76.3%	81.7	セミナー交流会 に参加し事業計 画を作成する事 業所	8	6	75.0%	5	
0	キャッシュレス対策セミナー	38	31	81.6%	87.9	セミナー趣旨を 理解した事業所 数	25	20	80.0%	5	
0	創業事業計画セミナー	10	11	110.0%	95.5	創業計画を取り 組む事業所数	3	3	100.0%	5	
(2)	広域事業(幹事事業の	み)									
府施 策	事業名	総支援企業数		支援	利用者 満足度		目標の指	標		事業評価	
連携	于 木石	計画	実績	実績率	(点)	項目	目標値	実績	達成率	于木叮叫	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

	令和2年度	夏(2020年	度)小規	模事業経	営支援事:	業	地域活性		績報告書			
				豊能	町商工会							
	事業名				里山魅力	発信	プラス事業					
想	定する実施期間	H30	年度~	年度	きまで ※ネ	复数年	段階的実施	事業は別紙に	こて計画を提	出すること		
		北摂地域の里山は大阪市内から車、電車などで1時間程の距離であり、都会地区からの区への健康目的の乗客(観光、ハイカー)や東地区への適度な里山体験(サイクリング、リング、ドライバー)も存在し、地域外利用者の消費促進のためにも、魅力を訴求する必求められる。地域事業者の強みを活用したPRの展開を促し、里山コミュニティの育成・発ともに、地域内外の方々へも地域事業者の魅力PRにつなげる。地域内利用者への接触機会供をもとに、地域外への訴求を行い、地域資源を活用した事業者の取組の創出を期待すると地域の価値を認知していただき、事業所の付加価値を高め販路を広げていくことを目的て本事業を実施する。ふるさと納税への提案事業や他連携での多岐にわたる展示会の活用用し、RESASからも読み取れるよう、地域資源の活用や都心部への消費促進を促し、活性取り組んでいく必要があり、地域内外の方へむけた訴求力の高いPR発信が必要である。										
事業	支援する対象 (業種・事業所数 等)	地域事業所										
の概要	実施時期・具体的 な内容及び事業手 法	事業者間で豊能町の魅力発信方法など、地域外の方に消費をしていただきやすい環境づくための商業の活性化に向けた取り組みを検討する ①セミナー 開催日: 令和2年 0月23日午後 時~開催場所:豊能町商工会 ②交流会開催日: 令和2年 0月23日午後3時~開催場所:豊能町商工会 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記し所施策連携 ②広域連携 ③市町 商品の販路支援の一環としてふるさと納税や事業者を地域内外にアピールするため対連携 支援を行う。 ④相談 事業者の事業計画について個別の相談事業で対応する。										
	計画に対する 実績(数値)	総支援企業数(計画)	3	8 総支援企数(実績		29	支援 実績率	76.3%	満足度	81.7		
事業全体の実績/目	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	る部分が利, であるか) ウェブ展開	点であるこ の考えで集けれ をセミナー	とを理解いて できせい でのできせい ででで でが、他社と で流会を	ただいてい 域や年齢が さないた。 比較される 受講する。	、	売上と顧客 にターゲット の、値段や利 目社サービス で理解いたた 加し事業計成	での誘因づけ を分けて事 「便性以外の」 を優先して だけた。 画を作成する		た層の顧客 る必要性や 頓関係を構		
標達成度	成果の代表事例					D減少	6 ♪に歯止めか	目標達 <i> </i> がかった。	<u>风</u> 浸 /	5.0%		
/2	その他目標値の実 績	目標値(計画)			目標値 (実績)			目標達	成度			
実施結果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に 達していない場合 は、その理由や今 後どのようにフォ ローするのか)	ウェブ活用 つながるよ				う取	り組んでいז	ただけた。 <i>^</i>	今後実際の売	上と集客に		

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

	1 11 11 1	L 15 A 116		10 于 木 口 小	**			
実	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	30 支援企 数(実統	績) 23	支援 実績率	76.7%	満足度	85.0
績	目標の達成度	セミナーを	受講することで、自治	社と自社の商	商品の効果的なPRの	の手法を学い	ぶことがて	゚きた。
利	(支援企業を							
達	どう変化させる	指標	セミナーを受講する	ことで、自	社と自社の商品の対	効果的なPR	の手法を与	字ぶことがて
成	ことができたか)	数值目標	30	実績数値	23	目標達成	度 7	6.7%
度		目標値		目標値		目標達成	庄	
	その他目標値の	(計画)		(実績)		日保廷风及		
	実績							
	計画に対する	支援企業	多 支援企	業 6	支援	75.0%	満足度	90.0
実	実績(数値)	数(計画)	数(実統	績)	実績率	73.070	冲足及	70.0
大	目標の達成度	セミナー交	流会に参加し事業計	画を作成する	事業所	·		
小只	(支援企業を							
達	どう変化させる	指標	セミナー交流会に参		画を作成した事業戸	-		
成	ことができたか)	数値目標	8	実績数値	6	目標達成	度 7	5.0%
度		目標値		目標値		目標達成	度	
2	その他目標値の	(計画)		(実績)		口派廷州	/X	
	実績							

	令和2年度	〔2020年度	要)小規模事業紹 である。	 Z営支援事業	地域活性	生化事業実績報	告書			
			豊能	町商工会						
	事業名	キャッシュレス化対策セミナー								
想	定する実施期間	H3I 角	F度~ 年,	度まで ※複	数年段階的実施	事業は別紙にて計	画を提出	すること		
	事業の目的 (現状や課題をど のような状態にし たいか)	に妥当性のあ により、里山 の利便性に加 続優位性のあ 各事業所に適	決済制度の選択は、る決済制度の選択との選択のとないとない。とのでは、生産のはないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	していかなけ やサイクリン させていただ す。事業者は っていただき	ればならない。 グやツーリンク けるよう、事業 、変化のスピー ながらも、国か	キャッシュレス 「需要も増加して (の経営指標数値 - ドに柔軟な対応 「定めるキャッシ	化を利用 いるため の向上を が求めら	すること 、消費者 図り、持 れる中、		
事	支援する対象 (業種・事業所数 等)		の事業所を対象と [・]							
業の概要		解説。事業計開催日:	ャッシュレス、マー 画作成を支援。 令和2年11月12日 :西公民館・商工会	・ 月 3日)説明・制度改定	並びに留	意点等を		
	実施時期・具体的 な内容及び事業手	<事業手法(①) ①府施 施策選 策連携	府施策連携・②広域連 連携商業第Ⅰ2番	携・③市町村連	携・④相談事業相	乗効果)の具体的な	ょ連携・効果	果を記載>		
	法	②広域 連携	「報誌にて、事業の」	ロロなわっかい		首2				
		村連携 ④相談 セミナ	ーを通じ、事業者はし事業計画書作成	に決済に対する			もに、個	別の事業		
事	計画に対する 実績(数値)	総支援企業 数(計画)	38 総支援企数(実績		支援 実績率	81.6% 満	足度	87.9		
業全体の実績/目標達成	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	へのキャッシ は増加した。 キャッシュレ 和性がみれた 理業務が効率 多く、売上と	ス感染症対策で売 ュレスリ、 やはり、 の利用率は高く、 のでは のでは ので ので が軽 ターなげてい とつなげてい 25	入れるけるといるというは、本の発にはいるというでは、いいのでは、いいでは、いいのでは、いいのでは、いいののがものがもりがもいい。	、若年層の利用 ブやツーリンク 高い。郊外型の 金を数えたり、 。キャッシュレ 誘因付けて考え	月者やリピーター ブ目的の地域外の)イイねを探しよ 銀行に入金し地 、ス利用者は地域 よることができる	の獲得高 感度いいっ 外からにな	顧客利用 い層との親 た現金管 利用者が		
度			スの導入により、					.070		
実 施 結 果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に 達していない場合 は、その理由や今 後どのようにフォ		にとってキャッシ 、個店の取り組み				あるが、	内容が複		
F EU A	ローするのか)	新ナシかカレー .	へる場合は、別紙し	- 吉	0 to 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4	立 ナ ごご 	.			

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	30	支援企業 数(実績	25	支援 実績率	83.3%		87.4			
績	目標の達成度 (支援企業を		セミナーに参加することで、キャッシュレス化の取り組みを理解できた。									
達	どう変化させる		指標 セミナー趣旨を理解した事業所数									
成	ことができたか)	数值目標	25		実績数値	20	目標達成	成度 8	30.0%			
度	その他目標値の	目標値 (計画)			目標値 (実績)		目標達成	目標達成度				
	実績											
実	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	8.0	支援企業 数(実績	60	支援 実績率	75.0%	満足度	90.0			
績	日 信の達成及 (支援企業を		ハンズオンでキャッシュレス化の取り組みを行った事業所									
達	どう変化させる	指標										
成	ことができたか)	数值目標			実績数値		目標達成	戊度				
度	その他目標値の	目標値			目標値		目標達成	成度				
2	実績	(計画)			(実績)							
	, , , ,											

	令和2年)	度(2020	年度)小規	視模事業経	営支援事	工	地域活性	上化事業実統	責報告書			
				豊能	丁商工会							
	事業名				創業事	業計画	ロセミナー					
想	定する実施期間	R2	年度~	年度	まで ※	复数年!	段階的実施	事業は別紙に	て計画を提	出すること		
	事業の目的 (現状や課題をど のような状態にし たいか)	に大きく変 たかのなう お標数値 また、後継	改正産業競争力強化法では、開業率のさらなる向上が挙げられているが、経営環境の見通しは常に大きく変化し、各制度改正の理解、対応は事業者にとり多岐煩雑となる傾向がある。何をすべきかの要点を整理し事業計画書の作成をおこない、専門家、指導員とともにブラッシュアップをおこなうことにより、持続優位性のある事業を目指し、事業の勘所を養う。加えて、事業の経営皆標数値の向上を計画、実行、検証、修正をおこない、事業の実現を達成することをもくろむ。また、後継者問題を抱える事業者の事業承継の促進や里山地域の特性を取り込んだ創業も行政とも連携し、包括的な支援をできる体制を柔軟に整えていく。									
事業	支援する対象 (業種・事業所数 等)	豊能町域内	外の事業所	を対象とす	る。							
米の概要	実施時期・具体的 な内容及び事業手 法	つな 開開 業施 (3) 東京 (4) 東京 (4) 東京 (5) 東京	めのセミナ: 令和2年 ⁹ 所:豊能町商 <u>**</u> かか一次ででである。 かのででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ーを開催す 7月 4日・ 6工会 6・②広域連携 第8番、 3 て、事業のP	る。 0月 : 30市町村 3番 Rをおこな 二創業、事:	2日 連携・	9時~ ③相談事業権 参加事業者	目莱郊果)***07頁	体的な連携	事業計画へと ・効果を記載>		
事	計画に対する 実績(数値)	総支援企業 数(計画)	10	総支援企数(実績		11	支援 実績率	110.0%	満足度	95.5		
業全体の実績/目	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	クリヤーし ス感染症ロ は、コロして 業開始して 性のある事 代表指標	なければな 影響もあり ウイルス感 いただけた 業展開を図	らない課題 、事業継続 染症対策や 。開始時か っていただ	等を一つ一 自体がブラ 事業のブラ ら3年程は きたい。 創業	つ説 ^E 厳しい ッシュ 、適り	明し、事業 い状況であ ュアップを Jに相談で、 を取り組む	者の理解を得るなかの創業行い、十分にきる場所を設まる場所を設ままります。	尋られた。 ∶ 養は、事業 こ納得してい ごけながらも	いただいて事 」、持続優位		
標達	成果の代表事例	数値目標事業計画書	を作成し.	豊能町の創	実績数値	結びれ	3 けけること	ができた。	以及	100.0%		
成度	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)	7-D O 1		目標達別	成度			
実施結果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に 達していない場合 は、その理由や今 後どのようにフォ ローするのか)			画など、実	見可能性に	疑問力		支援を行う」		コロナウイル 点があった。		

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	7	支援企業 数(実績)	8	支援 実績率	114.3%	満足度	93.8		
績	目標の達成度 (支援企業を	セミナーを	受講し、創業	に必要な知	識を身に付	けた人					
達	どう変化させる	指標	指標 創業計画に取り組んだ事業所数								
成	ことができたか)	数値目標	3	実	績数値	3	目標達成	戊度 Ⅰ(00.0%		
度	その他目標値の 実績	目標値 (計画)			目標値 実績)		目標達成	目標達成度			
					·		·	·			
実	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	3	支援企業 数(実績)	3	支援 実績率	100.0%	満足度	100.0		
績	日標の選风度 (支援企業を		ハンズオンで創業計画を取り組んだ事業所数								
達	どう変化させる	指標									
成	ことができたか)	数値目標			績数值		目標達成	戊度			
度 ②	その他目標値の 実績	目標値 (計画)			目標値 実績)	目標達成度					
	大 棋		1				,	'			